

# 「ITS EXPO」を 開催

## 万博開催期間における ITS イベント

島田伸一

(ITS 統括研究部次長)

### 盛りだくさんのITS 関連イベント

現在開催中の「2005 年日本国際博覧会」(愛称：愛・地球博 以下、「愛知万博」と略)の会場内外において、一連のイベント「ITS EXPO」が開催されます(主催：ITS Japan)。これは、昨年10月のITS 世界会議(名古屋)で紹介されたITS ショーケースをさらに一歩進めた最先端のITS を視察・体験できる場を提供するとともに、ITS に関するセミナーやシンポジウム、展示会等を行うものです。また、同時期に開催されるITS 関連イベントとも連携が図られ、我が国ITSの先進性が、愛知万博を舞台に各地にPR される予定です。

ITS は、環境に優しく、安全で便利な次世代の交通社会の実現を目指すもので、この「ITS EXPO」は、国内外から多くの人々が集まる愛知万博の場で、ITS を広く一般の方々に知っていただきITS の普及を促進するとともに、愛知万博の成功にも寄与することを目的に、産・官・学・民連携のもとで開催されます。

### ITS EXPO

ITS EXPO では、そのPR 期間を通期(愛知万博開催期間)、ITS 月間(7月)、コアウィーク(7月11日～18日)に分け、それぞれの期間にイベントが開催されます。例えば、通期とITS 月間では各地の大学におけるITS EXPO セミナーや、会場内外での訪問型ITS 視察・体験ショーケース(特定の日時に来場しITSを視察・体験)が行われ、コアウィークでは名古屋大学でのITS EXPO シンポジウム(7月11日)を皮切りに、ツアー型ITS 視察・体験ショーケース(ツアーバスにより複数のITS を視察・体験)や万博会場内にあるロータリー館においてITS の展示や紹介イベントが、関連イベント(名古屋：ITS フェスティバル、東京：ワイヤレスジャパン2005)と連携して行われる予定です。

### 「愛・地球博」における ユビキタスコンピュータ技術を 活用した実証実験の概要

また、当機構ではITS視察・体験ショーケースのうち、自律支援移動プロジェクトを支援しており、その概要は以下のとおりです。

#### 【愛知万博におけるユビキタスコンピュータ技術を 活用した実証実験の概要】

国土交通省では「愛知万博」において、ユビキタスコンピュータ技術を駆使した「多言語による会場案内」と「障害者等への目的地案内」の実証実験を行い、博覧会に訪れた方々に実体験をしていただこうとしています。

「多言語による会場案内」は「ビジットジャパンキャンペーン」の一環として、長久手会場において、無線マーカー、ICタグなどを用いて、英、仏、スペイン、中国、韓国語等の多言語で会場を案内するものです。

ITS 視察・体験ショーケース（予定）

ショーケース名称	主要実施主体	概要
1 リアルタイム信号制御	警察庁	最新の信号制御手法であるリアルタイム信号制御を適用することにより、愛知万博周辺の交通流の円滑化を図ります。
2 公共車両優先システム (PTPS)	警察庁	観客輸送バスへの優先信号制御を行うことにより、交通流の円滑化を図ります。
3 ITS スマートモール	総務省	名古屋市中心市街地商店街をモデル地域として、携帯電話、DSRC、無線 LAN などを活用した歩行者向けの ITS（情報提供等）に関する実験を行います。
4 障害者等 ITバリアフリープロジェクト	経済産業省	障害者等の安全で円滑な移動を支援する情報通信機器・システムの実験を行います。
5 DSRC (狭域通信) 技術の応用例		DSRC (狭域通信) を応用した、一般の IC クレジットカードによる自動決済システムや入出門管理システムの実験を行います。
6 ETC 通信技術を利用したマルチサービス	国土交通省	スマートインターチェンジ、DSRC による情報提供サービス及び DSRC 駐車場入出場管理のデモ実験を行います。
7 i-モビリティセンター		交通結節点において各種移動手段に関する情報を一元的に提供している施設です。
8 歩行者 ITS		現在、インターネットで提供中の「名古屋歩行者ナビゲーションシステム」で、身体状況に応じた経路検索が可能です。
9 自律移動支援プロジェクト		ユビキタスコンピュータ技術を駆使し、多言語による会場案内及び障害者等への目的地案内の実証実験を実施します。
10 バス総合情報システム		「バス総合情報標準データフォーマット (案)」に準拠したバスロケーションシステムの例や、実施した実証実験の内容の紹介を行います。
11 スマートプレート関連システム		電子ナンバープレートを装着したシャトルバスによる個車識別システムのデモンストレーションを行います。
12 交通関連情報総合提供システム (SKIP.aichi)	愛知県	移動の「目的」「手段」「経路」などの情報を最新のインターネット技術を使って収集し、わかりやすく提供するシステムの実証実験を行います。
13 最適経路選択支援システム (ユリなび)	名古屋市	市バスの接近情報サービスに使われている市バス位置情報を利用し、リアルタイムな乗り換え経路を案内する実験を行います。
14 みちなびとよた (ITS 情報センター及び総合情報提供システム)	豊田市	豊田地域 ITS の拠点「みちなびとよた」において、道路交通情報、公共交通情報、観光・イベント情報、バリアフリー情報等の情報サービスを行います。
15 エコカー等共同利用		電気自動車等のエコカーを市民が共同で利用するシステムを運用します。
16 バス運行管理高度化システム		高齢者も分かりやすく、使いやすいバスロケーションシステムを運用します。
17 P-DRGS	P-DRGS コンソーシアム	車からの情報（プローブ情報）を最大限活用して交通状況を把握し、公共交通機関も含めた動的な最適経路案内の実験を行います。
18 交通エコポイント/エコマネー	NPO エコデザイン 市民社会フォーラム・ 名古屋大学・他	公共交通機関の利用等、環境に優しい移動に与えられる交通エコポイントと万博会場内で使われるエコマネーとの連携を目指した実験を行います。
19 インターネット ITS	インターネット IT 協議会	街と人と車とをインターネットで結んだ「インターネット ITS 通り」の実証実験や車が発信する情報で実現される「プローブ安全運転支援 (ヒヤリハット)」の展示を行います。
20 DERC 駐車場の運用 (ETC の多目的活用)	豊田まちづくり(株)	ETC の多目的活用の一環として、DSRC 技術を活用した駐車場の運用を行います。
21 愛・地球博 ITS	博覧会協会	駐車場案内システムやバスロケーションシステムの実施と、それらの情報を統合する ITS センターにより、サポートナビなどの情報提供を実施します。

また、「障害者等への目的地案内」は神戸で実証実験中の「自律移動支援プロジェクト」の一環として、瀬戸会場において、IC タグ付誘導ブロック、無線マーカーなどを用いて、歩行者支援情報提供を行おうというものです。当機構は、「自律移動支援プロジェクト」の技術的な支援を行っており、日本内外の多くのお客様に体験して

いただけるのを楽しみにしています。実証実験では通信機器を設置した後、障害者の方々にモニター調査を行い、提供する情報内容を順次拡充しながら、5月中旬までにシステムを構築し、5月下旬には一般の方々にも体験していただける予定です。

